

各委員会イベント便り

企画委員会 ～おとなの遠足、大阪池田をあそ歩！～

平成31年2月7日

平成31年2月7日、第4回企画委員会では「おとなの遠足 大阪池田をあそ歩！」と題し、21名の参加の下、懇親視察会を行いました。

お天気に恵まれ、9時の池田駅集合に先立ち、一部の有志の方々は、「朝活・池田ぶらり散歩」に出掛けられました。カップヌードルミュージアムにて合流し、NHK朝の連続テレビ小説『まんぷく』で話題の安藤百福夫妻の展示などがある館内を見学しました。

その後二組に分かれてチキンラーメンとカップヌードルの手作りを体験し、家庭科の調理実習しながら和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。午後からは阪急電鉄創業者・小林一三氏の邸宅「雅俗山荘」に場所を移し、隣接する逸翁美術館を見学。そして邸宅フレンチに舌鼓を打ちました。

食後には白梅館にて阪急文化財団理事の仙海氏から阪急グループトリビア話を伺いました。朝活に始まり、お土産の小林一三氏お好みのお福のご紹介に至るまで、池田推進大使の梅坂氏にご協力頂きました。

(企画委員会)



広報委員会 ～黄桜カッパ飲み比べ親睦バスツアー～

平成31年2月21日

広報委員会では、平成31年2月21日、サロン付き豪華バスで、黄桜伏水蔵の見学と伏見稲荷大社の参拝ツアーに行きまして参りました。

伏水蔵では、日本酒造りと地ビール造りの工程、黄桜ならではのこだわり、歴史などを映像と展示で見学しました。当日は工場が稼働しておらず、実際に作業をしている所が見られずに残念でしたが、館内には歴代のカッパキャラクターのユニークな絵が多数飾られており、懐かしのCM映像では当時の思い出を思い出し大いに盛り上がりました。

併設レストランでの昼食は、伏見の名水が全てのお料理に使用されていて、特に黄桜の酒粕を使った紙鍋が絶品でした。勿論、飲み物は、出来立ての日本酒飲み比べ・地ビール飲み比べを楽しませて頂きました。

昼食懇親会で盛り上がった後は、伏見稲荷大社へ。予想通り外国人観光客で混雑していたものの「千本鳥居」はやはり圧巻で、朱色の鳥居がたくさん連なっている様子は神秘的で別世界に迷い込んだようでした。参道には屋台やお土産物屋さんも立ち並び、ちょっとしたお祭り気分。境内で美味しいお抹茶やお菓子を頂いて伏見稲荷を後にしました。

(広報委員会)



新入会員ご紹介

平成30年4月
～平成31年3月(敬称略・順不同)

片岡 みどり	(医)あかね・レディースクリニック	専務理事
津田 美津枝	協栄産業(株)	代表取締役社長
柳 生 美 江	(株)プチファーマシスト	代表取締役
神田 敏 美	Office KANDA	代表
徳田 有希子	(株)ダイヤツールズ	代表取締役社長
渋谷 真理子	明和金属工業(株)	代表取締役
濱 野 彩	サリュ	代表
三 浦 晃 代	(株)サンライズ	専務取締役
野 村 幸 代	(株)サンライズ	専務取締役
小林 アツ子	(有)T.PLAN	代表取締役
鎌 苺 悦 子	(株)オクムラ	会長
辰 本 裕 子	オフィス・レッドベア	代表
村 田 由 紀	ライトポジション	代表
石 本 真 喜 子	石本真喜子公認会計士事務所	所長
岡 本 久 美 子	(株)アプロサクセス	代表取締役
竹 内 富 美 代	ホームサロン フェビュラス	サロンオーナー
竹 口 美 穂	みなほ特許事務所	所長

編集後記

広報委員会を担当しまして2回目のNOWの発行となりました。今回「令和元年記念号」という事で、深い感銘と強い責任を感じております。新たな年号と共に、女性会も多数の新入会員を迎え、より一層活性化する事を願っております。最後になりましたが、ご協力下さいました皆様に感謝いたします。

広報委員会



「令和」改元記念号

大商女性会 編集発行/大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250



Vol.40 2019年 春号

ネモフィラ 花言葉:「可憐」「どこでも成功」

2019年度の主な事業予定

- 6月10日(月) よしもと西梅田劇場鑑賞会・昼食懇親会
- 6月14日(金)【関西女性会連合会】総会・京都大会
- 7月8日(月) 令和元年度通常総会&講演会
- 7月～8月【大阪府女性会連合会】理事会
- 9月5日(木)～7日(土)【全国女性会連合会】鹿児島全国大会
- 10月～11月【大阪府女性会連合会】研修・交流会
- 10月23日(水) 経営事例発表会
- 2020年1月 新年互礼会
- 2月 経営事例発表会
- 2月【大阪府女性会連合会】総会&講演会
- 3月【関西女性会連合会】理事会&会長会議

平成最後の大商女性会新年互礼会 昭和～平成 女性会60年のあゆみを振り返る

平成31年1月30日 帝国ホテル大阪「孔雀東の間」

平成31年の新年互礼会が1月30日(水)正午より帝国ホテル大阪「孔雀東の間」にて、古谷裕子副会長の司会により開会。

尾崎公子名誉会長のピアノ伴奏で尾崎裕会頭を始めご来賓の方々をお迎えした後、女性会の歌を合唱し、女性経営者127名が集う華やかな互礼会の幕明けとなりました。

河内幸枝会長からは、開会ご挨拶として、昨年の女性会創立60周年記念事業の成功、新年度へ向けての心構え、万博開催の準備活動への女性会の協力等についてのお話を賜りました。その後、名誉会長からも活気溢れるご挨拶を賜り、続いて久保田光恵副会長から新入会員4名の紹介、廣瀬恭子副会長からはゲスト16名の紹介がありました。

尾崎会頭からは、世界各国の男性名詞、女性名詞を例えにしながら、女性の強さや言語能力の高さを示す内容の非常にウィットに富んだお話と共に乾杯のご発声をいただき、和や



かなお食事の時間へと移りました。食後は、「創立60周年のあゆみ」と「60周年を振り返る」2本のスライドショーを鑑賞。

例年のアトラクションとは異なった趣向ながら、各女性会員は自らを女性会の歴史と照らし合わせて振り返り、各自の思いを胸に認める時間を過ごす事ができました。

最後は、名誉会長のピアノ伴奏により全員でふるさとを合唱。中根三恵子副会長のご挨拶により、新年の希望と決意に満ち溢れる新年互礼会は閉会いたしました。

(株式会社中央情報センター 代表取締役 安岡 優子)



目指せ！「自省利他」



昨年、12月18日、「大阪府商工会議所女性会連合会 研修交流会」が開催されました。

年末の慌ただしい時期にも関わらず、今年から初参加の高石商工会議所女性会を含め、15の女性会より160名にも及ぶ会員が参加されました。

2025年の国際博覧会が大阪に決まり、協力してまいりたいとの河内幸枝会長のご挨拶の後、龍谷大学学長 入澤崇氏による「仏教に学ぶビジネスリーダーの心得」と題する講話がありました。

仏教と言うと、硬い話と思われる方も多いでしょうが、お話の内容はとても身近なものでした。大阪経済の発展基盤は、三方良し（買い手良し、売り手良し、世間良し）が受け継がれており、この「世間良し」と言う発想が仏教精神によるものだそうです。

「シルクロードはビジネスの道でもあったと。では、何故、ビジネスマンは、仏教に魅力を感じたのか？何故、パーミヤンの大仏が建立できたのか？それは、「社会の安定と富の蓄積」があったからだ。では何故、異民族がひしめき合う地域で、「平和と富」があったのか？他者と共に生き、他者のために生きる「利他」。王や商人に影響を与え続けたこの「利他」と言う思想が物語っている。私たち人間はともすれば、自己中心になりがち。自らを省みる、自分を大切に、他者を大切に、つまり「自省利他」。この精神をシルクロードによってビジネスマンが伝えた。目指すべきは「自省利他」。

私たちの経営理念にも、「利他」の精神を是非、取り入れたいものです。一年の締めくくりに、経営にも、人材育成にも、そして私たち自身にも生かせる素晴らしいお話をお聞かせいただき、平成最後の研修交流会は終了しました。

(株式会社ココホーム 代表取締役 金野 容子)

大阪育ちの日本銀行理事・ユーモアあふれる講演会

今年の総会は、尾崎名誉会長がご欠席となり、お元気なお声が聞けず、すこし寂しい幕開けでした。河内会長のいつもの爽やかな笑顔と開会のご挨拶をお聞きし、普段の雰囲気に戻った総会の冒頭となりました。総会後は、久國副会長（箕面商工会議所女性会会長）の乾杯の音頭で、神戸吉兆のお弁当をいただき、お腹も満ち足りたところで講演会が始まりました。

テーマは、「関西経済の現状と展望」。講師は日本銀行理事で大阪支店長の山田泰弘様です。内容は難しそうだし、講演者の方は真面目そうだし、と思っていたのですが…。山田様は、大阪松原市のご出身で、大阪弁のご挨拶に始まり、掴みの話題も豊富。大阪で経験されたエピソードをユーモアたっぷりにお話しくださったことで、思わず講演内容に引き込まれていきました。

日本銀行大阪支店の成り立ちでは、大阪商工会議所とのゆかりについて触れられ、大阪商工会議所の初代会頭と13代会頭が、日本銀行大阪支店に深く関わりのあった人だということをお聞きし、親しみを覚えました。

また、現状の世界経済についての日本銀行の見解、日本国内での関西経済の優位性、インバウンドや2025年の万博での経済効果など、具体的な指数を示しながらお話いただきました。ご講演を通し、日本銀行券以外に知らなかった「日本銀行」について、その中身を知ることで少し身近な存在として感じる事ができました。

(株式会社MYキャリア 眞弓 悦子)

大阪府商工会議所女性会連合会 平成31年総会・講演会



『チョコ屋三代目の挑戦』



株式会社サロンドロワイヤル 代表取締役 前内 眞智子 様

チョコレートの草分け的存在である老舗、株式会社サロンドロワイヤルの三代目を引き継がれてから、今日までのお話をお聞かせ頂きました。

経営の在り方に変革感、特に三つの大きな改革が強く印象に残りました。

- ①男性が働く職場から、女性ならではの発想やセンスを取り入れられた事で、女性の心を掴む製品作りに至られた経緯。
- ②危険を伴う力仕事を、設備の改善を行ったことで、女性にも安全で働きやすい職場づくりに成功されたこと。
- ③生産管理体制の充実を図るため、協力会社への生産依頼や、コールセンターをアウトソーシングすることにより、高いレベルでのお客様対応が出来る環境システムを実現されたこと。

これらの取り組みにより、他社とは異なるより良いシステムを構築することで、会社を大きく発展させてこられたことは、大変勉強になりました。

また、サロンドロワイヤルと陸前高田市、東京大学の三者が協働して「ピーカンナッツ」を流通拡大し、陸前高田市の農業再生と地方再生プロジェクトを活性化する等、復興支援並びに社会貢献をなさっておられます。

何より、ピーカンナッツの臨床データに基づく、認知症予防の可能性や、女性の美容にも目を向けられ、世の中が必要とする製品を提供する「ゴールデンピーカン社」の設立に至るまでの想い大変感動致しました。

老舗の伝統を大切にしながら、斬新なアイデアや新しい事へのチャレンジを持ち続ける事は、どの様な場面でも前向きに捉えていかなければならないと感じました。

目で見えて楽しみ、味で感動させるサロンドロワイヤルのブランド戦略は目を見張るもので、今回改めてヒントを沢山いただき、「知る」「気づく」ことが出来ましたことに感謝し、今後の指針にしていけたらと思いました。

(幸福米穀株式会社 常務取締役 北本 みず子)

『私のサラリーマン人生～七転び八起き～』

めざせ全女性のフラッグシップ 女性管理職登用へのフライト



日本航空株式会社 執行役員 中野 星子 様

日本航空(株)執行役員・西日本地区支配人の中野星子様は日本航空が半官半民の時代、男女雇用機会均等法施行前に、女性の総合職 1 期生として入社されました。色々な部署を経験されましたが、常に男性の同期よりも1～2年遅れの昇格となり、良きにつけ悪しきにつけ”女性”だからという目で見られる会社人生を送っておられました。そんな中で、一つ目のターニングポイントが巡ってこられます。

男性の花形部門、女性には絶対無理と言われた年間売上約2000億円の営業部署に大抜擢されたのです。

そして、二つ目のターニングポイントが巡ってこられます。社運をかけたプロジェクト「燃油サーチャージ」の日本への導入を任されたのです。それを見事に達成され、会社の危機を救われました。

そこに、またまた会社破綻という壮絶な運命が襲ってきます。赤字路線を廃止することに伴う大規模な人員削減が始まり、来る日も来る日も退職勧奨を行う辛い日々を過ごされました。その中で、部下から「退職する事が会社に貢献する事になると思います」と言われ、辞表を受け取り、ご自身の気持ちが更に辛くなったそうです。又、再建に來られた京セラの稲盛会長から「この会社には経営者が一人もいない」「八百屋も出来ない」と指摘され、経営者としてのあるべき姿を学ぶための17回の教育と毎月の業績報告会に経営陣が参加することにより、会社の縦割りの壁が取り払われたような気がされたそうです。

現在、西日本地区支配人として心がけられている事は、出来るだけ頻繁に色々な部門を回って声掛けする事、スタッフを家族と思って時に厳しく、時に優しく労う事、オフィスに入る時は常に明るく振る舞う事とおっしゃられていました。最後に、数々の苦難も経験されましたがやはりお仕事が好きで、又、この人生は御家族の協力なくしては成り立たなかった事、関西に赴任されて 5年、大商女性会から常に元気をもらっている事を語られ、結ばれました。

本当にあっという間の30分間でした。まだまだ色々な事をお聞きしたい余韻と、又、とても”元気”が頂けるお話でした。本当に有難うございました。

(千里山バス株式会社 専務取締役 宮部 忍)